

# 令和7年度 一般選抜（三期） 入学試験問題

## 【 国語（現代の国語） 】

※科目【英語（英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ）】、【国語（現代の国語）】、【数学Ⅰ、数学A（場合の数と確率のみ）】、【情報Ⅰ】、【簿記・会計】の5科目の中から出願時に届け出た2科目を、解答してください（受験票に科目名を記載しています）。

※試験時間は、2科目で100分です。

※この問題冊子は【国語（現代の国語）】です。

### I. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- (2) 出題科目、及びページは下表のとおりです。

出題科目	ページ
国語（現代の国語）	1 ~ 10

- (3) 問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁、乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4) 問題の解答は、すべて別に配布する解答用紙に記入してください。
- (5) 解答用紙には、解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入してください。
  - ① 受験番号欄  
受験番号を記入してください。
  - ② 氏名欄  
氏名・フリガナを記入してください。

### II. 解答上の注意

<国語（現代の国語）>について

- (1) 解答欄への選択肢の記号（ア・イ・ウ・エ・オ …）の記入、および 文字の記入は、読み間違えのないように ていねいに書いてください。

## 国語

第一問 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

西洋が一八世紀にいたるまで、自然に対して無関心でありつづけたのに対して、古くから日本人は自然を意識してきた。日本には、草木虫魚にはすべてカミが宿っているというアニミズム的な物の見方がある。それは自然に低い価値しか与えてこなかったヨーロッパのキリスト教世界とは対照的である。

古代において、巨石や巨木はカミが降りてくるところとされていた。磐座とよばれる巨石、鎮守の森、富士山、滝などは、カミの住む聖なる空間として信仰の対象とされてきた。このような自然のとらえ方に、中国から入ってきた山水画や風水が影響を及ぼした。山水画は仙人の住む理想郷を描いた絵であり、風水は土地の吉凶を、地形や水の流れ方から占う思想である。日本人が自然を見るときの様式は、こうしてつくられていった。

A、沖合に大小二つの岩がならんでいれば、それは「夫婦岩」とよばれるし、長く伸びていれば「烏帽子岩」となる。河川の浸食によって断崖になっているところは「峽」とよばれる。そうした風景が好まれたのも、風水的に見て縁起がよく、縁起のいい風景が美しいと見られていたからである。

江戸時代には、天橋立、松島、厳島が日本三景と名づけられた。いずれも海と陸と樹木が絶妙なバランスで配された、風水的にも好ましいとされる空間である。このような様式的な風景美が江戸時代にはもてはやされ、葛飾北斎の「富嶽三十六景」、歌川広重の「東海道五十三次」「近江八景」「江戸百景」などの浮世絵がつぎつぎと発表された。これらのシリーズは、たいてい三とか八といった縁起のいい枚数でまとめられた。ただし、そこで描かれているのは風景というより名所といったほうがいだろう。

名所とは何か。山崎正和氏は次のように説明している。

「(名所とは) 自然の美がもつとも 1 に現われた場所だといえる。海が海らしく山が山らしく、島がもつとも島らしく現われたところが、それぞれの〈名所〉であろう。

それはたんにめずらしい地形であるだけではなくて、それを見る人間の趣味が投影されて理想化された風景なのである」

(「演じられた風景」)

西洋人が長い間、聖書のエピソードや古代ギリシア―ローマの歴史を投影しながら風景を見ていたように、日本人も見たまの自然を観察して美しいと感じていたわけではない。

① あらかじめ頭の中にあつた様式化された理想的風景を投影して、それを美しいと感じていたのである。たとえば、「梅に鶯」という言葉があるが、それはけつして鶯が梅の木を好むことを表わしているのではない。梅と鶯の組み合わせが、日本人の理想とする早春のイメージなのである。「牡丹に蝶」「紅葉に鹿」「月に雁」なども同じで、このようなイメージを投影して、日本人は自然を眺めてきたのだった。

B、こうした日本人の古典的な風景のとらえ方に異を唱えたのが、明治時代の地理学者、志賀重昂である。志賀は『日本風景論』において、日本全土を地理学の目によつて見なおそうと唱えた。山を見るにしても、理想化されたイメージを投影するのではなく、岩石の質などからその風景を科学的に考察しようとした。比叡山を論じるときにも、いつさい山岳信仰にはふれず、その地形と地質から景観を分析した。そのような科学的視線が日本の風景を見る目に導入されたのは、これが初めてだつた。

『日本風景論』の影響は大きかつた。その後まもなく発表された国木田独歩の『武蔵野』にもその影響が見られた。この作品は、自然科学的な目で武蔵野の雑木林の魅力を描いた随筆である。独歩は、名所旧跡を愛でる伝統から自分を切り離し、それまで見過ごされていた雑木林の美しさを発見したのだつた。

独歩のおかげで、いまも武蔵野といえは 2 に雑木林を思い浮かべる人が少なくない

だろう。しかし、実際の武蔵野の雑木林は開発によって、かつての面影をすっかり失っている。武蔵野＝雑木林というイメージは、いまでは③ヴァーチャルリアリティとして、マンションのネーミングなどにその名残をとどめている。

C

③日本と西洋との自然観のちがいがよく表われているのが庭である。内と外との中間地点である庭に、どのように自然を取り入れるか。その方法に、両者の自然に対する意識のちがいがうかがえる。

自然を取り入れるといっても、庭に草木をたくさん植えたり、水を流したりして自然らしさを演出しようとするのは、むしろ西洋のほうである。日本はむしろ逆だ。日本でもっとも有名な庭といえば、室町時代につくられた京都の龍安寺の石庭を思い出す人は多いだろう。石庭の名のとおり、この庭を構成しているのは石と砂である。いわゆる枯山水とよばれるものだ。④枯山水は、石と砂だけで、山のつらなる様や、滝や河の流れを表現する。そこでは植物はかえってじやまであり、極力排除される。

それに対して、西洋の庭は花が中心だ。色とりどりの、なるべく珍しい花がたくさん咲いているほど美しい庭とされる。西洋の庭の楽しみは、花を見ることといってもいい。ガーデニングとは、③には季節によって木を植え替えたり、さまざまな花を咲かせたりすることである。

しかし、そうだとすると植物をたくさん植えている西洋の庭の方が、自然を豊かに取り入れているような気もする。だが、そこに西洋と日本の自然観の大きなちがいがある。西洋の庭に植えられている草花は枯れば取り替えられる。つまり自然は交換可能な物として扱われている。いいかえれば、そこでは見えているものがすべてである。

それに対して、日本の枯山水は、見る者の想像力によって、目には見えない自然のいとなみと一つになるための人工的な装置だといえる。そこではたんに、砂が海を表わしてい

ると理解するだけでは足りない。だいじなのは、そこに実際に水がたゆたっているのを

4 に想像し、そのイメージを押し広げていくことである。

枯山水には「主石」と呼ばれる水源となる岩がある。その岩を探しあて、そこから湧きたす水の流れを思い浮かべ、その水が庭を満たし、渦を巻き、奔流となって山に打ち寄せ、宇宙をも満たしていく。そんな様子を心の中にありありと想像しながら、庭を眺め、宇宙の中にいる自分を観想する。それが枯山水の味わい方である。

受動的に理解するのではなく、想像力によつてはたらきかけて、そこに大海や宇宙を創造していく。枯山水という名がついてはいるが、それは、けつして枯れることのない水の流れや、無限の時間的広がりを感じるための庭なのである。

だが、どうして石なのか。前に述べたように、日本にはカミが降りてくる大石を磐座として信仰してきた伝統がある。石はカミの住まいであり、宇宙の縮図である。そのことを思い、大自然に包まれているような心持ちで、石に向き合うことが日本の庭の味わい方なのである。

#### D

このように石や砂を、山や島、川や海のイメージでとらえることを「見立て」と目の前にある前景の背後に、後景を透かして見る。この「見立て」は、日本人が長年かけて練り上げてきた、美しさを深く味わうための文化のエッセンスといつてよい。

盆栽も、小さな鉢植えの木を樹齢数千年の老木に見立てて味わうものである。茶室も、あの狭い空間を仙人の住む高峰の頂などに見立てるものだ。茶道で、一杯の茶の中に宇宙があるというのも「見立て」であるし、茶道具ではないひょうたんを花入れに使ってみるという遊び心も「見立て」である。落語も、特別な道具を使わず、一本の扇子を箆に見立ててそばをすすってみせたり、煙管に見立てたりしてさまざまな場面を表わす「見立て」

の芸である。

見立ては、もともとは漢詩や和歌など文芸の世界で用いられていた修辞法の一つだ。たとえば、古今和歌集のつぎの ア などもそうである。

冬ながら空より花のちりくるは 雲のあなたは春にやあるらむ

ここで冬の空から散ってくる花とは、もちろん イ なのだが、それを花に見立てて、雲の向こうは、もう春なのだなど想像しているのである。

見立ては、目の前にある有限なものの中に、より大きなものや、無限なものを見透かすことである。それは、見かけの閉塞した現実を突破して、新しい魅力や美しさをソウゾウするための知恵でもある。見立てが自在にできるようになるには、するどい感性や深い教養がなくてはならない。日本の伝統的な美意識に「粹」という概念があるが、「粹な人」とは、いわば「見立てができる人」といつてもいいかもしれない。

田中真知 『美しいをさがす旅にしよう』(白水社)

- ※1 アニミズム：世界のすべての事物に靈魂や精神が存在すると信じる心の状態。
- ※2 エッセンス：物事の本質。

※問題作成のため本文を一部変更・省略したところがあります。

問一  と  に当てはまる語としてもつとも適当なものを次のア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア あるいは    イ ところが    ウ まさに    エ たとえば    オ むしろ

問二  ～  に当てはまる語としてもつともつとも適当なものを次のア～カの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 反射的    イ 消極的    ウ 積極的    エ 基本的    オ 典型的  
カ 根本的

問三 傍線部①「あらかじめ頭の中にあつた様式化された理想的風景」とありますが、これとほぼ同じ意味になる言葉を文中から十字以内でぬき出しなさい。

問四 傍線部②の「ヴァーチャルリアリティ」という言葉は、どのような意味ですか。漢字四字の言葉を考えて書きなさい。

問五 傍線部③「日本と西洋との自然観のちがい」とありますが、「西洋の自然観」とはどのようなものですか。文中の表現を用いて三十字以内で答えなさい。

問六 傍線部④「枯山水は、石と砂だけで、山のつらなる様や、滝や河の流れを表現する」とありますが、それを可能にしているのは何ですか。文中から十字以内でぬき出しなさい。

問七  と  に当てはまる一字の漢字をそれぞれ考えて書きなさい。

問八 次の説明で本文の内容に合っているものには○、合っていないものには×を解答用紙に書きなさい。

- 1 日本ではイメージを投影して風景を見てきたが、西洋では昔から見たままの自然を観察して美を見出してきた。
- 2 日本人は古代から自然を崇高なものとしてあがめてきたが、西洋人は自然を価値の低いものとみなしてきた。
- 3 国木田独歩は独創的な視点から武蔵野の雑木林の持つ美しさを発見し、現代にもその影響を与えている。
- 4 日本の庭は自然を排除するが、西洋の庭は自然を積極的に取り入れている点で優れたものとなっている。
- 5 見立てとは、目の前にある限られた現実を想像力を駆使して押し広げていくことであり、日本文化の精髓である。

問九  と  にはそれぞれ節題が入る。それぞれの節題としてもっとも適当なものをそれぞれア～カの中から一つずつ選び記号で答えなさい。

- ア 見立てとはなにか
- イ 日本と西洋の自然観とは
- ウ 枯山水の味わい方
- エ 日本の庭は想像力で見ると
- オ 美しさを深く味わうための文化
- カ 日本の伝統的な美意識

第二問 次の傍線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- ① ふくらんだ風船が破裂した。
- ② 意味のない虚しい努力だ。
- ③ 資金が欠乏する。
- ④ 身柄が拘束される。
- ⑤ 日本企業の誘致に積極的だ。
- ⑥ 事態を憂慮する。
- ⑦ 娯楽施設が少ない。
- ⑧ 大会を主催する。
- ⑨ トンネルを掘削する機械。
- ⑩ 坑道は立ち入り禁止です。
- ⑪ 日本は高温多湿だ。
- ⑫ 大豆を発酵させる。
- ⑬ 免税店で高い買い物をする。
- ⑭ 料り強くがんばった。
- ⑮ 自分の信念を貫く。

第三問 次のカタカナ部分を漢字一字と送りがな（ひらがな）に直しなさい。

- ① 自分にはマツタク関係のない話だ。
- ② どんな時でも笑顔をタヤサズにすることだ。
- ③ 犯人が逃走をクワダテル。
- ④ 野生の動物をオドカシて追い払う。
- ⑤ ロープをユルメテください。
- ⑥ 私腹をコヤスようなまねは許さない。
- ⑦ 少年の心にけがれはなく、キヨラカナ眼をしていた。
- ⑧ 湖にボートがタダヨツテいる。
- ⑨ 顔を見ているだけでもニクラシイ。
- ⑩ 有名人に質問をアビセル。

第四問 次の傍線部のカタカナを漢字で書きなさい。

- ① 子供には スコやかに育て欲しい。
- ② 皆の前ではめられてテれた。
- ③ 雨でぬれた髪をカワかす。
- ④ 田舎の両親から宅配便がトドいた。
- ⑤ カイコがまゆを作った。
- ⑥ 隣国の主権がシンガイされた。
- ⑦ 駐車場のチヨウカ料金を取られる。
- ⑧ 外交交渉のシヨビは上々だった。
- ⑨ 人口のスイイを調べる。
- ⑩ 根拠のないソクセツに過ぎない。
- ⑪ クり返し練習する。
- ⑫ アイソは悪いが腕の立つ医者だ。
- ⑬ 国際社会のシンライを得る。
- ⑭ ジヒ深い心の持ち主だ。
- ⑮ 家族でハカマイリに行った。



# 国語

解答用紙 (裏面 第二問～第四問)

解答欄への文字の記入は、読みやすい字で、いねいに書いてください。  
 また、漢字は、楷書で書いてください。  
 読みにくいと判断された場合には採点されない場合がありますので留意してください。

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

第二問 漢字の読み

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

第三問 漢字一字と送りがない

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①

第四問 漢字の書き取り

# 国語

解答用紙 (表面 第一問)

受験番号	
フリガナ氏名	

第一問 文章問題

問九
C
エ
D
ア

3点×2=6

問七
ア
首
イ
雪

2点×2=4

問八
1
×
2
○
3
○
4
×
5
○

3点×5=15

問六
見
る
者
の
想
像
力

6点

問五		
で	て	見
あ	で	え
る	、	て
と	自	い
い	然	る
う	は	も
も	交	の
の	換	が
。	可	す
	能	べ

30字 8点

問四
仮
想
現
実

3点

問三
理
想
化
さ
れ
た
イ
メ
ー
ジ

6点

問一
A
エ
B
イ

2点×2=4

問二
1
オ
2
ア
3
エ
4
ウ

2点×4=8

# 国語

解答用紙 (裏面 第二問～第四問)

第二問 漢字の読み

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
つらぬ	ねば	めんぜい	はっこう	たしつ	こうどう	くつさく	しゆさい	こびやく	ゆうりよ	ゆうち	こうそく	けつぼう	むな	はれつ

第三問 漢字一字と送りがな

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
浴びせる	憎らしい	漂って	清らか	肥やす	緩めて	脅かし	企てる	絶やさず	全く

第四問 漢字の書き取り

⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
墓参	慈悲	信頼	愛想	繰	俗説	推移	首尾	超過	侵害	蚕	届	乾	照	健

解答欄への文字の記入は、読みやすい字でていねいに書いてください。  
また、漢字は、楷書で書いてください。  
読みにくいと判断された場合には採点されない場合がありますので留意してください。